



PRESS RELEASE

※本資料はイプソスがフランスの現地時間 2024 年 2 月 21 日に発表したプレスリリースの抄訳です。本資料の正式言語は英語であり、その内容・解釈については英文プレスリリースを優先します。

報道関係各位

2024 年 3 月 7 日
(日本時間)

成長が加速、2023 年は高い収益性を維持

有機的成長：第 4 四半期は 8.8%、通期は 3%、営業利益：13.1%

2024 年 2 月 21 日、パリ — 世界有数の市場調査会社であるイプソスは、2023 年第 4 四半期の事業活動が加速、8.8%の有機的成長率（第 1 四半期：-2.8%、第 2 四半期：0.5%、第 3 四半期：4.3%）を記録し、通期ガイダンスを達成しました。そのため、2023 年会計年度の有機的成長率は 3%（コロナ関連の契約終了の影響を除くと 4%）に達しました。営業利益は 13.1%で過去最高の水準となり、マクロ経済および地政学的に厳しい状況下でもグループの収益性を維持する能力を実証しました。

第 4 四半期の売上高は 4.8%増の 7 億 1470 万ユーロ。通期では 23 億 8,980 万ユーロとなり、有機的成長（3%）および周辺事業の影響（0.3%）を相殺した為替レートの悪影響（-3.9%）により 0.6%減少しました。

イプソスの CEO であるベン・ページは、「2023 年は経済的な逆風にもかかわらず改善し、イプソスモデルの回復力を証明した。地理的な広がり、マルチセクターのアプローチ、顧客ポートフォリオ、新しいテクノロジーのおかげで、2024 年に向けて自信を持って踏み出すことができる。当社のチームの才能とコミットメントと相まって、これらの強みは、新たなクライアントのニーズに応え、新たな成長機会を掴み続けるために必要なものだ」と述べています。

四半期別業績

単位：百万ユーロ	2023年vs2022年		
	2023年 売上	総成長率	有機的成長率
第1四半期	532.0	-2.9%	-2.8%
第2四半期	555.1	-3.3%	0.5%
第3四半期	588.0	-2.3%	4.3%
第4四半期	714.7	4.8%	8.8%
収益	2,389.8	-0.6%	3.0%

地域別業績

単位：百万ユーロ	2023 売上	割合	有機的成長 (2023年vs2022年)	
			第4四半期の有機 的成長	
欧州・中東・アフリカ	1,026.6	43%	11.2%	4.1%
米州	956.4	40%	7.7%	1.7%
アジア太平洋	406.8	17%	5.5%	3.5%
収益	2,389.8	100%	8.8%	3.0%

全地域が第4四半期に素晴らしい成長の勢いを示し、通期でも成長しました。

第3四半期以降、欧州・中東・アフリカ（EMEA）地域の活動はコロナ関連の大型契約終了に起因する不利なベース効果から解放され、最終四半期には11.2%の有機的成長率という素晴らしい勢いを見せました。通期の有機的成長率4.1%は、主にフランスやベルギーなどの国々が素晴らしい業績を報告した欧州大陸が牽引したものです。

米州の事業活動は2023年に1.7%の有機的成長を示しました。これは、ラテンアメリカの好調（8%以上）と北米の低成長（1%近く）という対照的な現実を反映しています。米国は、大手ハイテク企業の需要が大幅に減少した影響を受けました。しかし、これらの顧客からの需要は最終四半期にかけて徐々に改善しました。この傾向は2024年においても、主に生成AIによってもたらされる新たな機会によって確認されています。全体として、米州の最終四半期は北米、南米ともに7.5%超の有機的成長率を示しました。

最後に、アジア太平洋地域の有機的成長率は第4四半期で約5.5%、通期で約3.5%でした。ゼロコロナ政策の終了後、中国の景気回復が目に見える形で現れない中、我々の中国での活動も停滞し、地域全体の業績にも支障をきたしました。逆に、インドと東南アジアは二桁成長率で勢いを維持しました。

対象別業績

単位：百万ユーロ	2023 売上	割合	第4四半期の 有機的成長	有機的成長 (2023年vs2022年)
消費者 ¹	1,126.8	47%	12.8%	7.1%
顧客と従業員 ²	530.0	22%	2.5%	0.1%
市民 ³	351.2	15%	2.3%	-5.0%
医師と患者 ⁴	381.8	16%	12.4%	3.6%
収益	2,389.8	100%	8.8%	3.0%

対象セグメント別のサービスラインの内訳：

1- Brand Health Tracking, Creative Excellence, Innovation, Ipsos UU, Ipsos MMA, Market Strategy & Understanding, Observer (excl. public sector), Ipsos Synthesio, Strategy3

2- Automotive & Mobility Development, Audience Measurement, Customer Experience, Channel Performance (Mystery Shopping and Shopper), Media Development, ERM, Capabilities

3- Public Affairs, Corporate Reputation

4- Pharma (quantitative and qualitative)

第4四半期（12.8%増）および2023年通年（7.1%増）ともに、消費者事業は非常に力強い勢いを示しました。これは、ブランドの健全性の追跡、マーケティング費用の最適化、市場でのポジショニング活動、および質的活動に関する事業部門の優れた業績を反映したものです。消費者事業の堅調な業績も、同部門の高水準の活動維持に貢献しました。

顧客および従業員事業は年間を通じて安定していました。このセグメントの事業は2023年、大手ハイテク企業の顧客からの需要減退によってマイナスの影響を受けましたが、顧客体験調査とミステリー・ショッピング調査は好調な業績を記録しました。

市民事業は5%減少したものの、これは主にコロナ関連の契約が終了した影響です。コロナ関連を除く公共部門に特化した事業は好調に推移し、既存事業の成長率は8%を超えました。

最後に、医師と患者を対象とした事業は2023年を通して改善基調を維持し、第2四半期の有機的成長は9%増、うち最終四半期は12%増となりました。年明け早々には、製薬業界の一部顧客による転換の影響を受けましたが、この事業は勢いを取り戻しました。特に、高付加価値サービスの提供や、患者や処方者をターゲティングしてセグメント化するソリューションがその一例です。

2024 年の展望

2023 年のイプソスは、コロナ関連の大規模契約の終了、大手ハイテク顧客からの需要の減少、そしてより一般的には困難なマクロ経済的および地政学的な環境による逆風にもかかわらず、業績は改善しました。高水準の営業利益を維持することで、当グループはその営業モデルの弾力性と不確実な環境への適応能力を確認しました。負債がほとんどないため、当グループは成長、投資、買収に必要な資金を調達し続けられる絶好の立場にあります。

買収計画を加速させることで、特定の市場、特にパブリック・アフェアーズにおける主導的地位を固めることができました。

2023 年と同様、今年もマクロ経済と地政学的な不確実性、そしてテクノロジー、社会、気候における継続的な大きな変化が特徴的な年となるでしょう。このような状況において、企業や政府が消費動向や世論を理解し、意思決定に役立てようとするならば、これまで以上に質の高いデータと分析が必要となります。これらすべての要因が 2024 年の当社の成長を促進します。

2024 年には、クライアントへ、より影響力のある情報をより迅速に提供できるよう、テクノロジーへの投資を強化していきます。また、新しいオファーを開始し、データの品質とセキュリティを確保し、営業モデルをより効果的なものにしていきます。当社の生成 AI プラットフォームである Ipsos Facto は、この戦略の中核を形成します。2023 年 6 月より全従業員が利用できるようになり、現在ではクライアントも利用可能です。このサービスは、イプソスのデータによりリアルタイムで更新される市場で最も優れた言語モデルと、市場調査のプロフェッショナルに特化した当社独自のプロンプトライブラリに基づいています。

今期については、既存事業の成長率を 4%以上、営業利益を 13%前後と予想しています。2024 年の活動の四半期ごとの伸びは、2023 年とは大きく異なるでしょう。2024 年の第 1 四半期の業績は比較的良好な比較基準の恩恵を受けるでしょうが、その後の比較基準は年が進むにつれて徐々に悪化するでしょう。

最後に、当社は戦略計画「科学とデータの中心」で発表した財務目標を達成できることに引き続き自信を持っています。

2024 年 5 月 14 日の株主総会では、取締役会は 1 株当たり 1.65 ユーロ、すなわち 2020 年の 0.90 ユーロ、2021 年の 1.15 ユーロ、2022 年の 1.35 ユーロに比べ、調整後 1 株当たり純利益の 30%超に相当する 22%超の大幅増配を提案する予定です。資金配分に関する当社の優先事項は依然として技術およびパネルへの投資と買収の追求ですが、解約を意図した自社株買いプログラムも継続する予定です。

年次決算発表

2023 年度の年次決算は、2024 年 2 月 22 日（木）午前 8 時 30 分（中央ヨーロッパ時間）にウェブキャストおよび公表文書で発表されます。

登録をご希望の方は、IpsosCommunications@Ipsos.com にご連絡ください。

年次決算発表の録画はホームページからもご覧いただけます。

<https://www.ipsos.com/en/financial-presentation/en>

その他詳細は以下よりご参照ください。

■プレスリリース原文（英文）

<https://www.ipsos.com/sites/default/files/ct/newsroom/documents/2024-02/ipsos-Growth-acceleration-2023.pdf>

■プレスリリース全文日本語翻訳版

<https://www.ipsos.com/sites/default/files/ipsos-Growth-acceleration-2023-ja.pdf>

【イプソスについて】

イプソスは、世界最大規模の世論調査会社であり、90 の市場で事業を展開し、18,000 人以上の従業員を擁しています。1975 年にフランスで設立されたイプソスは、1999 年 7 月 1 日からユーロネクスト・パリに上場しています。同社は SBF120 および Mid-60 指数の一部であり、繰延決済サービス（SRD）の対象となっています。

ISIN コード FR0000073298, Reuters ISOS.PA, Bloomberg IPS:FP www.ipsos.com

【会社概要（日本法人）】

会社名：イプソス株式会社

所在地：東京オフィス 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-3-13 ヒューリック神谷町ビル

代表者：代表取締役 内田 俊一

事業内容：世論調査並びに各種市場調査の調査企画立案、実査、集計、分析、レポートニングに関する全てのサービス

HP：<https://www.ipsos.com/ja-jp>

【本件に関する報道関係者からのお問合せ先】

イプソス株式会社 PR チーム

TEL : 070-3875-5300、Mail: ipsos_pr@world.zaq.jp